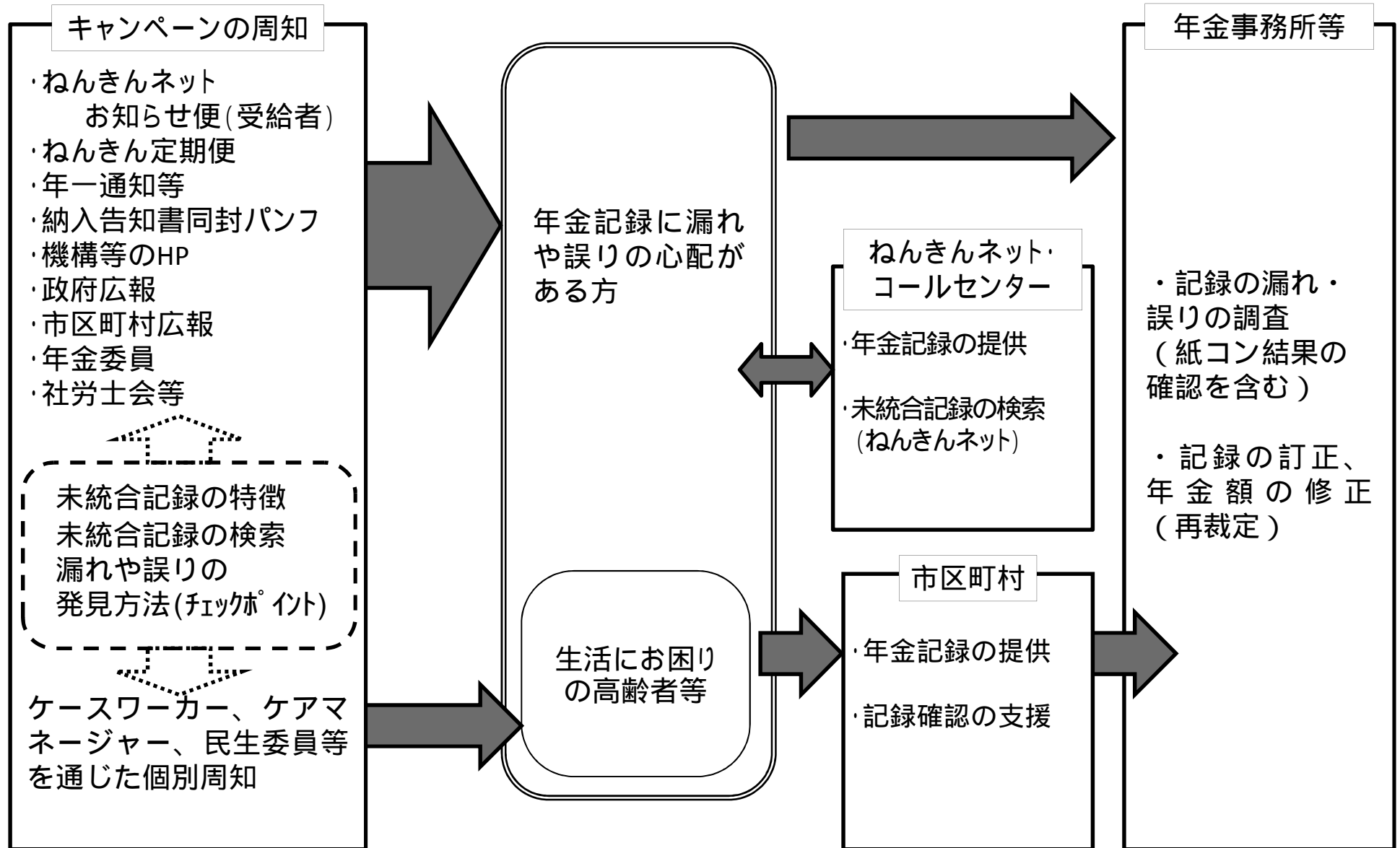


平成24年3月29日
日本年金機構

気になる記録の確認キャンペーンの概要(案)



市区町村におけるねんきん記録発見支援事業について（案）

未だ手がかりのつかめない未統合記録など、ご本人からのアプローチなしに解決できない記録問題を解決するため、平成25年1月以降「気になる記録確認キャンペーン」を開始する。

その一環として、現役世代に比べ、統合が進んでいない高齢者の方を対象に、市区町村の協力を得て、キャンペーンの周知や年金記録発見の支援を行う。

市区町村におけるねんきん記録発見支援事業（平成25年1月～）

1 市区町村と連携したご高齢の方へきめ細やかな周知

自分の記録に漏れや誤りがあるのではないかと不安に思っている高齢者に対し、「ねんきんネット」を活用した記録確認等についてねんきんネットお知らせ便（受給者）等による対象個人への周知、広報を実施。
【日本年金機構】

地域の高齢者に対して、市区町村の広報誌やホームページ等を通じた広報や、民生委員、介護事業所等を通じたきめ細やかなキャンペーン周知を実施。【市区町村】

2 生活にお困りの高齢者を対象とした年金記録発見支援モデル事業

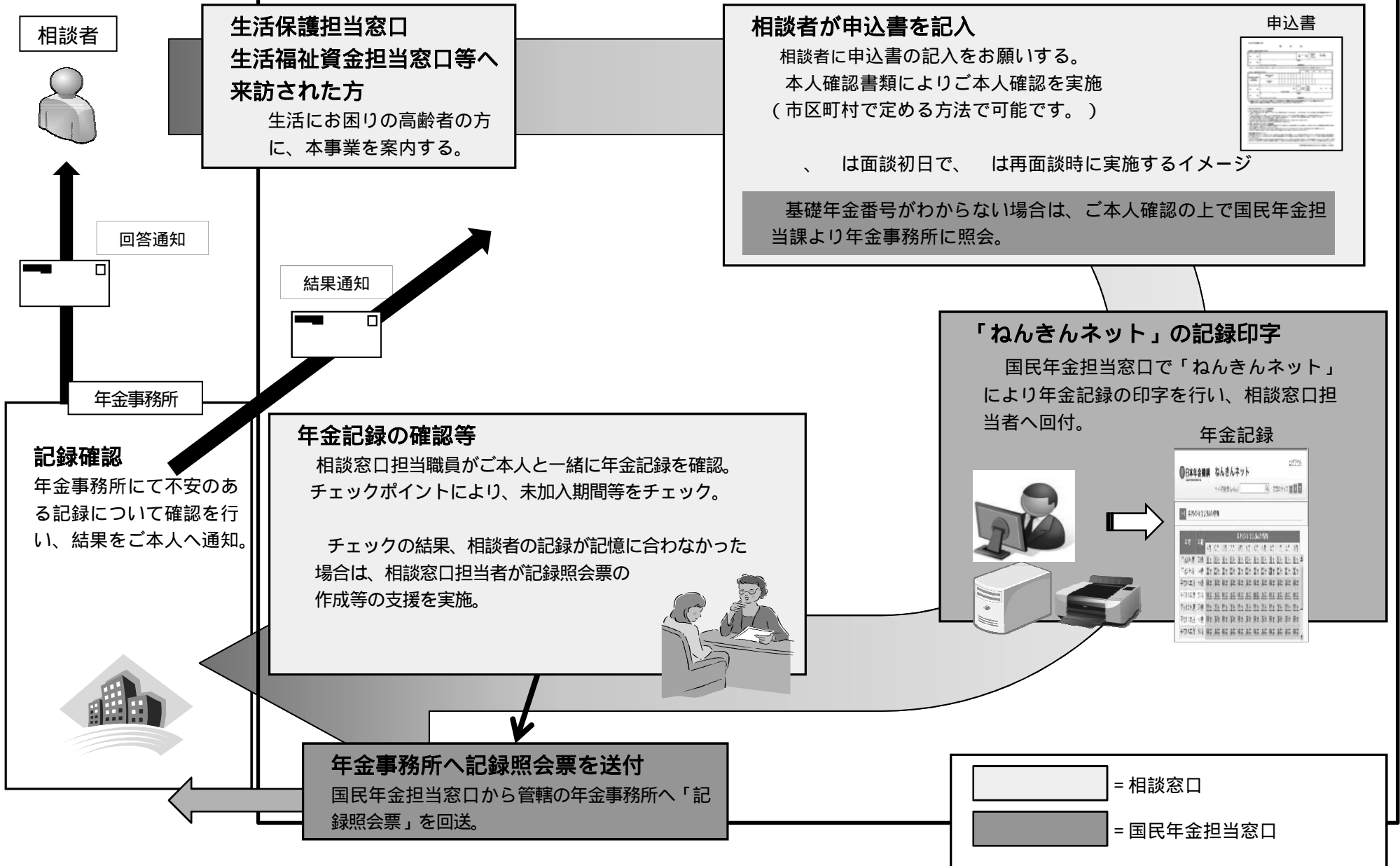
生活にお困りの高齢者に対し、対面で「ねんきんネット」を活用した記録確認を支援。

生活保護相談窓口や生活福祉資金相談窓口などに相談に来た高齢者に対し、市区町村の担当者が「ねんきんネット」を活用した記録確認から年金事務所への「記録照会票」の提出等までをお手伝い。

全国展開も視野に入れ、運用方法や効果等を検証するため、モデル事業を実施
（5～7月を想定、1市区町村対象者10名程度を想定）

年金記録発見支援モデル事業のイメージについて

市区町村・社協等



「気になる記録の確認キャンペーン」の今後のスケジュール（案）

| | | |
|-----|-----|---|
| 24年 | 4月 | |
| | 5月 | ○市町村での年金記録発見支援事業の試行開始（～7月） ○年金事務所でのキャンペーン試行開始（～7月） |
| | 6月 | ○未統合記録のサンプル調査結果について |
| | 7月 | |
| | 8月 | ○市町村での年金記録発見支援事業、年金事務所のキャンペーン試行の実施結果の取りまとめ |
| | 9月 | |
| | 10月 | ○市町村ほか、関係方面への協力依頼 |
| | 11月 | |
| | 12月 | |
| | 25年 | 1月 |
| 2月 | | ○受給者へ「ねんきんネットお知らせ便」の送付 |

(参考)

生活保護請求手続きを契機とした年金額回復の具体的事例

| | 年齢 | 性別 | 記録 所判 明の 相談 回数 の 年金 事務 | 回復額 (年額) | 備考 |
|---|----|----|---|-------------|--|
| 1 | 87 | 男 | 初回 | 724,500円 | 国民年金加入期間235月(手番のみ)に厚生年金加入期間143月を追加 |
| 2 | 66 | 男 | 2回 | 545,400円 | 厚生年金加入期間11月に138月を追加 |
| 3 | 65 | 女 | 初回 | 539,700円 | 厚生年金加入期間45月に国民年金加入期間138月を追加 |
| 4 | 68 | 男 | 初回 | 493,900円 | 国民年金納付済み期間231月、全額免除期間60月に船員保険加入期間17月(厚生年金換算22月)を追加 |

※ H23. 4. 1~9. 30まで公表した高額回復者(260事例)のうち無年金者からの回復事例は20例。この中で生活保護請求手続きを契機とした回復事例を整理したもの。